

## ◆「経済倶楽部講演録」

バックナンバーのご案内

＊1月号 水島治郎「ポピュリズムの時代なのか——岐路に立つ現代デモクラシー」 高原明生「第19回党大会後の中国」 佐和隆光「文系軽視・理系偏重は国を減ぼす」

＊12月号 曾我豪「政治の面白さ、怖さ」 三浦瑠麗「北朝鮮核危機と日本」 山下一仁、柳田・石橋の農政論と農業改革」 河野龍太郎「完全雇用なのになぜ追加財政、金融緩和を続けるのか」  
＊11月号 石破茂「自民党、そして日本の今後について」 長尾年恭「大規模地震対策特別措置法見直しと予知の実力」 田中均「朝鮮半島問題に解はあるか」 武者陵司「インターネット・グローバルラッシュ時代の投資戦略」

【編集後記】 冬季五輪平昌大会では、

開催間近になって突然参加を表明した北朝鮮の動向が注目を集めました。参加選手が20人程度なのに派遣人数は応援団230人を含めて5000人規模になり、その派遣費用を韓国が負担することになりました。開会式には韓国と北朝鮮の選手が統一旗を掲げてともに行進するということ、もともと一つの国なのだから、費用負担も当然なのかもしれません。しかし、北朝鮮と韓国の蜜月が北朝鮮の非核化につながるといふ幻想は全く論外でしょう。

次号は、藤原帰一氏「ポピュリズムをどう考えるか」、吉川洋氏「2018年日本経済の課題」、田中秀征氏「保守本流と自民党本流」を掲載予定です。

## 東洋経済 経済倶楽部講演録 (2018年2月号)

2018(平成30)年2月20日発行

本書内容の複写・複製・転載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 駒橋 憲一 編集人 柴生田晴四

発行 東洋経済新報社  
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)  
電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987  
e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <http://www.keizaiclub.or.jp>  
印刷・製本 東港出版印刷

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉